釧路湿原国立公園　温根内ビジターセンター

月刊温根内通信

2022年12月号　№.315　　12月15日（木）発行

湿原の“天の川”

釧路湿原の代表的な植物でもあり、季節によっていろいろな顔を見せてくれるヨシ。華やかさを失ったこの季節の湿原では、黄金色の穂が魅了します。

午後のミズゴケ湿原。木道からヨシ湿原の方向を望むと、夕陽に照らされて並ぶその穂はまるで夜空の天の川のようでした。

何もないように見えても、目を凝らせばまだまだ感動的な出会いが待っています。

☆☆☆　温根内木道周辺で見られた自然（11/15～12/14）　☆☆☆

【カラフトイソツツジ（花芽）】
ツツジ科　樺太磯躑躅
ミズゴケ湿原で球状の花芽をつけています。本種は樹木の一種で、この状態で冬を耐え抜きます。

【ハリギリ（実）】
ウコギ科　針桐
鶴居軌道跡で見上げると、背の高い本種の実が見つかります。ヒヨドリやツグミが食べています。

【シナノキ（実）】
アオイ科　科の木
「苞」と呼ばれる葉を残し、落下の際できるだけ種子を遠くへ飛ばそうとします。日本固有種。

【エゾタヌキ】
イヌ科　蝦夷狸
前号で糞を紹介しましたが、稀に実物に出会うこともあります。のんびりと餌探し中でした。

【クジャクチョウ】
タテハチョウ科
薪の隙間でじっとしていました。成虫のまま越冬するチョウで、来春、真っ先に動き出します。

もうすぐ見られるかも！

【初日の出】東側が開けている温根内は、日の出が綺麗に見えます。

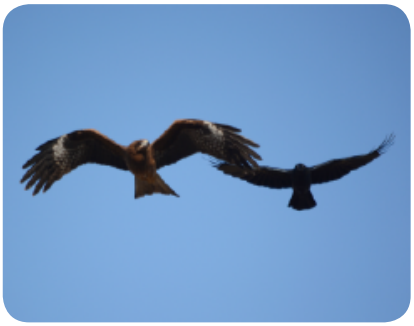
〇表紙の写真 上：黄金色に輝くヨシ　下：木道に降りた霜

☆☆☆　温根内木道周辺で見られた野鳥（11/15～12/14）　☆☆☆

温根内ではアトリやマヒワといったアトリ科の小鳥たちが見られるようになりました。オジロワシやオオワシも時折上空で見かけることもあり、いよいよ冬本番を迎えつつある釧路湿原です。

【オオハクチョウ】 旅鳥（一部越冬） カモ科　大白鳥
「フォ、フォ…」という声とともに上空を渡っていきました。晩秋と早春のおなじみの光景です。

【アトリ】 旅鳥
アトリ科　花鶏
100 羽以上の群れが見られました。マヒワ・ベニヒワといったアトリ科はこれからも期待です。



【トビ】留鳥 タカ科 鳶 【ハシブトガラス】留鳥 カラス科 嘴太鴉
カラスに追い回されるトビ。大きさは明らかにトビの方が上ですが、力関係は逆のようです。

○温根内木道周辺で観察された鳥（11/15～12/14）

鳥（和名は日本鳥類目録第７版の順）		7	コゲラ	14	シジュウカラ	21	セグロセキレイ
1	オオハクチョウ	8	オオアカゲラ	15	ヒヨドリ	22	アトリ
2	タンチョウ	9	アカゲラ	16	エナガ	23	カワラヒワ
3	トビ	10	ハシボソガラス	17	ゴジュウカラ	24	マヒワ
4	オジロワシ	11	ハシブトガラス	18	キバシリ	25	シメ
5	オオワシ	12	ハシブトガラ	19	ミソサザイ	26	カシラダカ
6	ノスリ	13	ヒガラ	20	ツグミ	27	アオジ

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

☆☆☆☆　自然ふれあい行事が開催されました　☆☆☆☆

○「クリスマスリースを作ろう」

11 月 27 日　参加者：９名　講師：甲斐美弥子（リース創作研究家）

自然の素材を使って、自分だけのオリジナルリースを作る毎年恒例のイベントを行いました。いつものように。途中で相談したい時などがあれば随時講師の甲斐氏が対応し、できる限り参加者の自由に任せてリースを製作する方針で進めました。参加者はまず土台となる巻き蔦を選んでから、用意したリース用の素材やオーナメントを配置していき、グルーガンや針金で土台に固定していきました。配置などで迷ったことがあったら、その都度講師に助言をお願いし、そうしているうちに力作が次々に出来上がっていきました。大人の参加者は配置やバランスを考えながら慎重に歩を進めるのに対し、子どもの参加者はとにかく直感の赴くまま、一直線にそして斬新に完成させていくのがとても印象的でした。スタッフが用意した流木の欠片を見事にクリスマス用の飾りに変身させたりする参加者もいらっしゃいました。皆さんハッピーなクリスマスを！

○「湿原の『かたち』を見て歩こう」

12 月４日　参加者：12 名　講師：藤原伸也（温根内 VC 指導員）

冬を迎え、遠くまで見通せるこの時期を選び、釧路湿原の地形や植物の形などに焦点を当てて散策する会を行いました。まずはビジターセンターから新釧路川右岸堤防道路へ移動し、湿原とその周辺を見渡せる場所に出ました。すると、

すっきりと晴れたこの日は南側に見事な階段状をした「段丘地形」を見ることができました。段丘地形は２段になって見え、釧路湿原がその昔、海に面しており、波の浸食と地面の隆起を繰り返してこのような地形が生まれたことを参加者に感じ取ってもらいました。また、湿原やその周辺に生育する樹木が種類によって、その樹高や枝の広げ方が微妙に違うこともこの日はよくわかりました。終盤では、散策しながら 1970 年代の空中写真と比較し、ハンノキ林の広がり方など、現在との違いをいくつか見つけてもらった上で、その違いがどうして現れたかを参加者にも考えてもらいました。いつもとは違う視点を持って、花や動物だけではない釧路湿原の新たな魅力を感じてもらえた１日となりました。

☆☆☆☆　パークボランティア 新規会員募集中！　☆☆☆☆

現在、環境省では釧路湿原国立公園パークボランティアの新規会員を募集しております！
釧路湿原の自然解説・美化清掃・公園施設の簡易な維持管理・外来生物の防除などにご興味のある方は、環境省釧路自然環境事務所ホームページを参照の上（→）、ご検討ください。ぜひ会員になりたい！という方は、サイト内にある申込書に記入し、郵送またはメールで環境省担当者宛に送付してください。申し込み期限は 2023 年１月９日です。
一緒に釧路湿原の保全・利用について考え、行動してくださる元気な方をお待ちしております！
（お問い合わせ）Tel：0154-56-2345　E-mail：WB-KUSHIRO@env.go.jp

○ 自然ふれあい行事　⇒お申し込み☎ 0154-65-2323

♪湿原アニマルトラッキング
〔日時〕１月 15 日（日）10：00 ～ 12：00　〔定員〕10 名（小学生は保護者同伴）
〔参加費〕無料　〔場所〕温根内ビジターセンター
雪の上の足跡や、あちこちに残る痕跡から、 湿原周辺の動物の行動と暮らしについて考えます。

○塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み☎ 015-487-3003

♪連凧を作って揚げよう
〔日時〕１月７日（土）10：00 ～ 12：00　〔定員〕10 名（小学生は保護者同伴）
〔参加費〕100 円（材料費）　〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

～今年もお世話になりました～

今年も残すところわずかとなりましたね。当センターは下記の期間、年末年始休館とさせていただきます。
どうぞよいお年をお迎えください。

＜年末年始休館日＞
2022 年 12 月 29 日（木）～
2023 年１月３日（火）
（新年の開館は１月４日（水）から）

月刊　温根内通信　№ 315
発行：釧路湿原国立公園　温根内ビジターセンター
〒 085-1145　北海道阿寒郡鶴居村字温根内
Tel：0154-65-2323　Fax：0154-65-2185
E-mail：ovc@kushiro-shitsugen-np.jp
ホームページ：http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/
Facebook：温根内ビジターセンター　フェイスブック
開館時間：9:00 ～ 16:00（４月～ 10 月は 17:00 まで）
休館日：毎週火曜日（12/29 ～ 1/3 は休館）　入館無料